

【米田主宰の俳句】

天の川

米田規子

あたまのなかこんがらがって日雷
仙人掌の花会えるのはずっと先
詩の見えぬ日や熱風にあえぐ木々
晩夏光マス目を埋めて空を見て
みな同世代炎天の橋わたる
幻想曲ピアノは月光に濡れて
八月十五日ざぶざぶと顔洗う
ピカーンと晴れて西瓜を真っ二つ
百日紅きょうのいのちを今日つかう
七人の詩人が集い天の川